

会 議 名	パリ市 15 区への青年海外派遣事業支援業務委託 第 2 回事業候補者選考委員会
開催日時	令和 8 年 5 月 22 日（金曜日）午後 3 時から午後 5 時まで
開催場所	港区役所 3 階 会議室
委 員	明治学院大学心理学部教育発達学科教授 渋谷 恵（委員長） 文化芸術事業連携担当部長 西川 杉菜（副委員長） 戸板女子短期大学国際コミュニケーション学科教授 松井 恵美子（委員） みなと芸術センター開館準備室長 宮崎 刀史紀（委員） 教育委員会事務局学校教育部先端教育担当課長 溝口 貴裕（委員）
事 務 局	地域振興課国際化推進係
会議次第	1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会
配付資料	〔席上配付〕 次第 資料 1 パリ市 15 区への青年海外派遣事業支援業務委託事業候補者選考一次審査 集計結果 資料 2 第 3 回選考委員会進行スケジュール（案） 資料 3 パリ市 15 区への青年海外派遣事業支援業務委託プロポーザル第二次審査 の実施に関する留意事項（案） 資料 4 第二次審査採点基準表（案） 資料 5 第 1 回パリ市 15 区への青年海外派遣事業支援業務委託事業候補者選考 委員会会議議事録（案） 参考資料 1 パリ市 15 区への青年海外派遣事業支援業務委託事業候補者募集 要項等一式
会議の内容	
委員長	1 開会 （省略） 2 第一次選考結果について （次第 2 について、事務局から説明） 審査にあたり評価したポイントなどを、各委員から順番に講評をお願いし たいと思います。
C 委員	どちらの事業者も一定の水準はクリアしていましたが、B 事業者

	の評価を高くしました。評価した点としては、実施体制の適格性の部分などで、A事業者よりも組織的な対応が期待できるところです。加えて、現地での実施計画について、A事業者の提案は、旅行の企画書としては魅力的な内容だと思うのですが、別の視点でみると、施設を見学すること自体が目的となっていて、その効果まで深掘りされていないような印象を受けました。一方、B事業者は本事業の目的を理解したうえで、例えば、なぜ、この施設を見学するのかといった理由とその効果まで記載されており、体系立てた提案がされていると感じました。
A 委員	全体でみると両者ともに平均点ですが、A事業者の方が様式の記載が薄く感じ、B事業者の評価を高くつけています。また現地での実施計画については両社とも独創性が感じられず平均点としています。一方、事前・事後研修については、両社ともに平均以上だと感じています。点数に差がついた部分としては、危機管理についてB事業者に高い点数をつけています。危機対策の事前準備について、路線の選定やマニュアル配布など多くの項目を列挙できている点を評価しています。
E 委員	A事業者について、実務的なノウハウを持っており、「地球の歩き方」などの独自のプログラムを持っている点は良いと思ったが、実際の文化体験のプログラムについては、観光に留まってしまっているという印象を受けました。エンターテインメントも大切だが、事業の目的との関連性について、説明があまりなかったと感じました。また危機管理については、具体的なサポート体制や関係機関との連携についての記載が読み取れませんでした。 B事業者について、コンセプトをしっかりと示しており、事前研修・現地での活動・事後研修までの流れを連動させるということが強調して書かれている点が評価できると感じました。危機管理についても、具体性が高い対策をイメージしていることが読み取れました。 したがって、B事業者の評価を高くつけています。
D 委員	A事業者は旅行に慣れている印象を受けた一方、B事業者は港区との連携実績は多いが、オーストラリアに特化しているという印象でした。フランスとオーストラリアでは事情が異なるため、派遣事業への慣れといった部分でA事業者に高く点数をつけています。 内容でいうと、どちらとも旅行のイメージを受けますが、二次審査にて内容をもう少し深掘りしたく、その中身で判断したいと考えています。 学びの観点からいうと、A事業者は帰国後にアセスメントを取り入れている部分が明確だった点に対し、B事業者は事後研修でどこまでを求めているのかが完全には見えなかったと感じました。

B 委員	配置計画やスケジュールをみて、どちらの事業者も実施可能な体制を備えていると感じました。しかしどちらとも一般的な観光と変わらない提案で、企画の趣旨の理解や独創性は感じられなかったです。特にA事業者については、他で観光に行っても同じような経験ができるのではないかと感じました。事前研修についても、今回の企画として新たに考えたという印象がなく、事前のディスカッションについても今回の派遣に適切かどうか判断できなかったです。安全面についても、A事業者の方が明確でなかったと感じました。 B事業者についても同じような文化体験先が提示されてはいるが、選定の理由付けにおいて、多様な価値観や社会の在り方について意識していることが読み取れました。また事前研修で挙げている少人数でのフランス語学習もよい動機付けになると感じました。学びの観点で見ても、参加者の主体性や参加者自身が持つ観点を生かし、振り返ることで今後につなげるというストーリー性を確立できている点を評価し、高く点数を付けました。安全面について、ヨーロッパで実績のある現地業者ということでしたが、日本との連携については実際どうなのかを確認する必要があると感じました。
委員長	審査にあたっての意見交換を行う前に、資料1の審査結果にて、他の委員との評価に2つ以上差がある部分についてお伺いします。 評価項目(2)の企画提案書の内容について、A事業者の評価を36点とした理由を、D委員にお伺いできればと思います。
D 委員	あえて差をつけるとしたら、ということでA事業者の配点を高くしましたが、両社ともブラッシュアップが必要かと思います。訪問先に有名なところばかりを抑えていない点から、他とは少し違った経験につながる場所を訪問できるのではないかと期待感も込めて配点を決めました。
委員長	それでは次に、A事業者の評価を18点とした理由を、E委員にお伺いできればと思います。
E 委員	A事業者の企画提案について、多文化共生や文化体験を中心に据えて構成されていると感じなかったため、低い点数を付けました。こういった趣旨でプログラムを行うのかが明確には読み取れなかったです。
委員長	その他、委員の皆様から気になる採点はありますか。
A 委員	事務局にお伺いします。今回の提案内容は事務局の想定のものでしょうか

	か。ほかに重視したい分野があるとしたらどういった分野なのでしょう？
事務局	文化財保護という視点も文化芸術を学ぶ上で大切だと考えており、そういった視点や現地で働く日系の人々との交流も想定していたのですが、今回の提案の中ではありませんでした。いただいた提案のまま実施するのではなく、区と事業者で協議を重ねながら内容を考えていきたいと思っています。
B 委員	現地の若者文化（日本の漫画など）を体験するようなエリアの推薦がなかったのは安全面からなのでしょう？
事務局	現地でのグループ活動等も事務局の方で考えていたのですが、現地調査にてスリが多いということがわかり、安全面を考慮して行程には組み込んでいません。若者文化については、パリ日本文化会館やパリ市 15 区のメディアセンターにおいて日本の漫画等を配架していることから、それら施設の視察を通じてカバーできると考えております。
委員長	それでは、意見交換を踏まえ、自身の採点について振り返る時間を設けます。採点を変更する場合は、お手元の採点表の原本に朱書きで修正してください。
事務局	変更なしということでしたので、A 事業者が 615 点、B 事業者が 683 点となり、両社とも 60%を超えているという結果になりました。事務局からは以上です。
委員長	一次審査の評価点数については、この点数で決定してよろしいでしょうか。
全委員	（異議なし）
委員長	では二次選考に進むのは A 者、B 者の 2 者とします。
	3 第二次選考について （次第 3 について、事務局から説明）
委員長	説明が終わりました。事務局から説明があった、プレゼンテーションの時間等、何かご意見はありますでしょうか。
全委員	（意見なし）

委員長	では、二次審査については資料のとおりとしたいと思います。 次に、質疑応答の際の全事業者への共有質問事項について、事務局から提案をお願いいたします。
事務局	共有質問について、事務局から提案いたします。 「区が、事業者の提案内容以外の文化体験プログラムを希望した場合は、対応可能か。例えば、現地企業訪問や国際機関の視察など。」
委員長	共通の質問については事務局からの提案のとおりとと思いますが、いかがでしょうか。
全委員	(異議なし)
委員長	そのほか、何かご質問事項等はございますでしょうか。
D委員	見積りの書き方がそれぞれ違うのですが、合計額が今後変わってくるということはあるのでしょうか。
A委員	合計額と項目に過不足がないか、事務局の方で確認いただき、問題なければ大丈夫かと思います。
B委員	教員やファシリテーター的な役割について、今回は区の職員が行うといった認識でよいか。
事務局	ご認識のとおり、区の職員が担います。
A委員	旅行的な部分は業者が担うと思いますが、学び的な部分も区の職員がカバーするのでしょうか。
事務局	毎日、振り返りの時間を取ろうと考えています。また事後研修の中で何を学んだのかを振り返る時間や意見交換の時間を確保する予定です。
委員長	4 閉会 以上で本委員会を終了します。 本日はご出席いただきありがとうございました。